
『君たちの全ての記憶と共に』

セウル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『君たちの全ての記憶と共に』

【Nコード】

N8026R

【作者名】

セウル

【あらすじ】

軽音部の唯、紬、澪、律が卒業して、最後の部活をしている音楽室。
そこで彼女達を見守るとある人物の話。

(前書き)

あの。

ごめんなさい。私アニメの方しか知らなかったりします。
というわけで、

知ったかの癖に！

とか思う方は、お戻り下さい。

申し訳ありませんが、軽音部員5人の台詞は皆無です。
それも嫌な人はお戻り下さい。

「ばいばい。」

4人は僕にそう言っつて、最後の演奏を僕の為ではないけれど、聞かせてくれた。

僕が来てから、1年も経っていないけれど、唯ちゃんは、僕を可愛いと褒めてくれた。

澪ちゃんは、僕を怖がってはいたけれど、

僕の挨拶を見て、喜んでくれた。

律ちゃんも、あんまり会話は無かったけれど、

大切に、してくれた。

紬ちゃんも、僕を可愛がってくれた。

君たちの部活動は、僕にとって見てて楽しいものだった。

だらけるけど、時折真面目な唯ちゃん。

からかうのが好きなのに、反撃されるのが弱い律ちゃん。

怖いのと、痛いのが嫌いそして、恥ずかしがりやな澪ちゃん。

家柄が、おっとりしてて、優しい紬ちゃん。

そんなみんなの、お茶会も、

バンド演奏も、コレで見納め、聞き納め。

君たちは卒業して、ここから去ってしまう。

悲しいな。そう思う。

僕の涙は水に溶けて見えなくなるけれど、

流した事に変わりはない。

君たちは気づいてくれたかな？

だけどね？

僕は、嬉しくもあるんだ。

だって たった1年足らずの付き合いでも、
君たちの成長する姿が、見れたから。
その成長していった君たちがここを離れていくと言う事は、
君たちが大人になった証拠だから。

その分・・・寂しくもなるんだけどね。

君たちの歌、声、表情、姿。

その全てが、一度きりのもので・・・

ここからいなくなる時の最後の声、歌、表情、姿。
文字通り、最後だから。

2度と見れなくなってしまうから。

1年生から君たちを見ていたかった。

3年間の高校生活を、共にこの音楽室で過ごしたかった。
でも、僕は君らが3年になってからしか知らない。

もっと、幼かったんだろうか？

いや 案外変わっていないのかもしれない。

・・・いや。変わっただろうな。

もうすぐ、君たちの最後の部活が終わってしまう。

どんなに願っても、君たちはここを離れる事になる。

だから、願うのは君たちの幸せだ。

君たちの頬を伝う涙は、一生の宝物。

ここで生きてきた、君たちの心。

「「「「ばいばい。 H・T・T。 「「「「

君らの声が、部屋に響く。

終わった。

君たちは帰ってしまった。
いや、ここに帰る事は無いのだから、
去ってしまった。だね。

そして、

夕暮れに染まる音楽室に僕らだけが残った。
まったく……。

いつまでも、泣いていちゃ駄目だよ。

今、この時から君が部長なんだ。あずにゃん。

あの4人の受け継いだ いや。築き上げた軽音部を。

今度は君が、受け継ぐんだ。

僕は、今から君の成長を見守る事にする。

ただそれしか出来ないけれど。

今年から君も3年生。

頑張つて。

例え、君が卒業して軽音部が無くなるとしても、

君らの歩んだ軌跡。

刻んだ記録。

奏でた音は決して無くならないから。

だから。

君の歩みを記録を音を。

ここに残そうよ。

僕は君が卒業するまで君を見て。

その後、君の後輩を見ていよう。

それがずっと続いて欲しい。

君が居なくなつて、部が無くなつても。

僕は、君たちの全ての記憶と共にここに居よう。

(後書き)

HTTは放課後ティータイムです。
と。念の為言っておきます。

ごめんなさい。

アニメが面白かったのでつい書いてしまいました。

トンちゃん視点いかがでしょうか・・・

正直、性別すら知らないので僕にしてるんですけど。

まあ、梓卒業後は、梓が持ち帰るんだと思うけど・・・

それとも、紬？

どうだろう・・・

読んでくれて有難う

感想等お待ちしてます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8026r/>

『君たちの全ての記憶と共に』

2011年6月3日05時13分発行